

# 福島大学の学生が村民と交流 「いいたて村民食堂」で会いましょう

昨年12月21日、村役場に隣接するエコモデルハウス「まていな家」で、福島大学行政政策学類の学生が、村民に料理を振る舞う『いいたて村民食堂』を開きました。学生達は、同学類の大黒太郎准教授のゼミに所属し飯舘村をフィールドに様々な活動を展開していて「食」を通じた交流にも取り組んでいます。



1日限定で開かれた「村民食堂」では、「汁三菜膳」として、もち米「あぶくまもち」を使った2種類のおこわ、村民手作りの漬物、村内でつくられた味噌を使い学生が考案した野菜たっぷりの味噌汁などが振る舞われました。活動を通して知った飯舘村の「食」の魅力で、交流をさらに深めていこうという取り組みです。今後も継続的に食堂を開き、集いの場として育てていきたいと計画しているそうです。



体に優しく味わい深い一汁三菜膳



多くの学生が村民を出迎えた会場前の様子



「食」をきっかけに会話もはずみず

## Native Speakers 第10回

ネイティブ・スピーカーズ  
飯舘言葉の達人たち

たっぺだから  
そっこそっこ  
いかねど

その意味は…



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てください

または検索で!

飯舘村 YouTube

### 〈編集後記〉

● 飯舘村で過ごす2年目の冬。昨シーズンとは違い、積雪の多さと気温の低さに驚く毎日です。こんな寒い時だからこそ、1つでも多くの心温まるような話題をお届けできればと思います。今月号の百歳賀寿。ひと月に3人の方が100歳を迎えることは、本当に珍しいことです。元気な姿に、大きなパワーをもらいました。私も、目指せ100歳!(菅野)

● 震災以降の経験も糧だと語り、家族や恩師、多くの支援に感謝を伝えた新成人の皆さん。頼もしくて清々しくて、この10年が未来に続く道であることを実感しました。おめでとーうとしてあげがどう。(星)